

少年を「使い捨て」にする 「闇バイト」の現実 ～犯罪実行者募集の実態～

茨城県警察



今日の授業について



1 応募から検挙されるまで

- (1) 募集情報への応募
- (2) 犯行グループとのやりとり
- (3) 犯行グループへ個人情報を送信
- (4) 犯行グループによる脅迫行為
- (5) 犯行グループの末端として犯罪行為に加担



2 迎える結末

- (1) 「使い捨て」にされる少年たち
- (2) 勇気を持って犯罪から抜け出した少年たち

3 それぞれの声

- (1) 検挙された少年たちの声
- (2) 被害者の声

1 応募から検挙されるまで

基本的なパターン



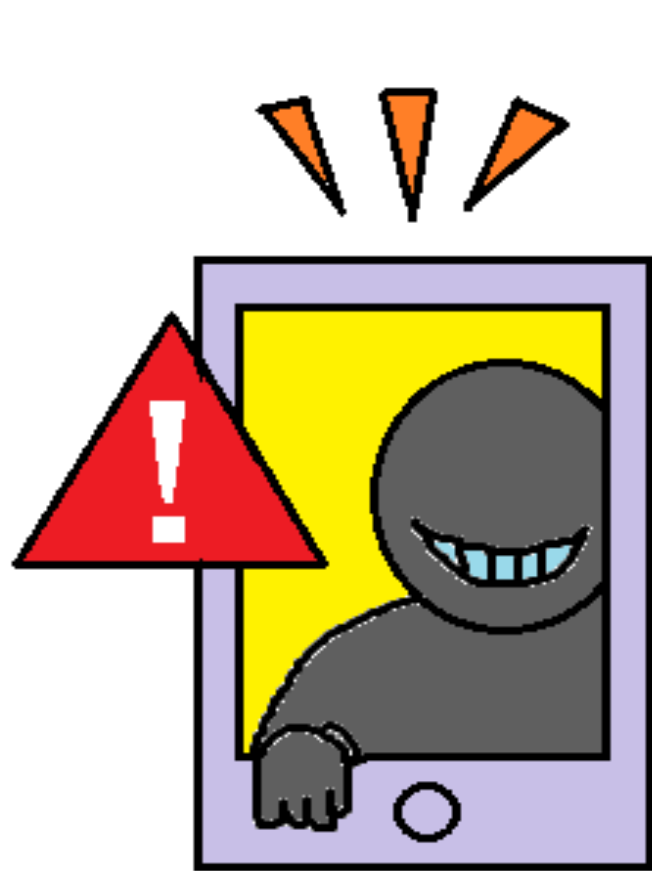
- ① 自らSNSで「高額報酬」等を検索・応募
- ② 犯行グループから連絡が入り、以降、匿名性の高いアプリでやりとり
- ③ 犯行グループに言われるがまま個人情報を送信
- ④ 犯罪行為への加担を拒否すれば犯行グループが個人情報を基に脅迫

(1) 募集情報への応募



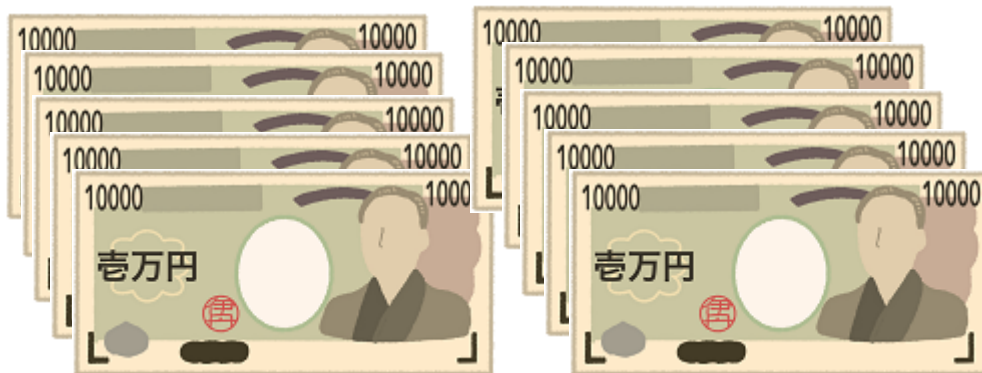
「#高額報酬」
「#闇バイト」等
と検索し自ら応募





働いてみないか。
大金を稼げる仕事
がある

SNSに限らず、
先輩・友人・知人
に誘われてという
のもあるんだ



(2) 犯行グループとのやりとり



○ アルバイト求人サイトに正規のハンドキャリーの仕事（日給15,000円程度）として人材募集広告が掲載されていた。履歴書を送らせるなど一見、正当な仕事だと思ったが

- ・ 会社との面接は通話のみで実際に会うことは**ない**
- ・ 会社の者から、匿名性の高いアプリを入れるよう**に言われ、以後の指示等はインストールしたアプリのみで実施**
- ・ **報酬の支払い方法は指定された場所に現金が置いてある**

などの不審点がいくつもあり、実際の仕事内容は特殊詐欺の「受け子」だった。

会社の人と実際に会わず、SNSのみでのやりとりは「闇バイト」



(3) 犯行グループへ個人情報を送信

もう逃げられないぜ



要求されたら要注意！

- 身分証明書と一緒に自分の顔写真を送信
- 家族や交際相手の個人情報を送信
- 動画等を送信

事例 1 身分証明書と一緒に自分の顔写真を送信

- ① 匿名性の高いアプリを使って顔写真と身分証明書を送るように言われ、保険証と一緒に顔写真を送信してしまった。
- ② 匿名性の高いアプリで個人情報を送るように言われ、住民票と自撮りの顔写真を送信してしまった。

身分証明書と顔写真を合わせると、
第三者が見ても個人の特定が可能に



事例2 家族や交際相手の個人情報を送信

- ① 犯行グループから住所だけでなく、家族構成や名前、勤務先等まで聞かれて伝えてしまった。
- ② 犯行グループから交際相手のことを聞かれ、彼女の名前や生年月日、顔写真を送信してしまった。

大切な人の個人情報を犯行グループに送信するよりも、大切な人に相談を



事例3 動画等を送信

- ① 犯行グループとの面接の際、スマホの中身（電話帳、写真、SNSの履歴等）を長時間かけてくまなく動画撮影された。
- ② 自分が住んでいるマンションの入口から部屋までの道のりを動画撮影するよう指示され、送信させられた。
- ③ 報酬を振り込むために必要と言われ、銀行名、名義、口座番号を伝えてしまった。
- ④ 自分の名前や住所、連絡先等と一緒に上半身裸の写真を送信させられた。

アルバイトに応募しただけなのに動画を要求されるのは「闇バイト」



1 応募から検挙されるまで

(4) 犯行グループによる脅迫行為

本人や家族に対する脅迫

実家への押し掛け

犯罪者には
なりたくないけど、
逃げられない



事例 1 本人や家族に対する脅迫 ①

- ① 警察に捕まるリスクが大きいと思い断ると「自宅に押し掛ける。母親から狙う」と脅され仕方なく「受け子」をやった。
- ② 「受け子」の仕事だと分かったが犯行グループから「逃げたらこうなるよ」と男が殴られる動画が送信されてきて怖くなった。

犯行グループは「やるしかない」という気持ちにさせようとしているだけ



③ 途中で詐欺だと気づき「辞めたい」と言ったら「家族全員殺すぞ」などと脅迫されて「受け子」をやらざるを得なかった。

④ 犯行グループからの2回目の仕事を断ったところ「この前の荷物は、おばあさんからだまし取ったお金だ。詐欺の運び屋に加担したな。お前の顔写真や住所を知っているから逃げられないぞ。」と脅され、以降も「受け子」として加担せざるを得なくなった。

犯行への加担と個人情報が入質に



事例2 実家への押し掛け

「受け子」をして得た現金を別の犯行グループに横流ししたら、自身や実父へ架電された後、実家に押し掛けられた。

そもそも「受け子」をやらなければ
こういう目にはあわない



犯行グループの巧妙な手口

犯行グループは、少年たちが素直に指示に従っているうちは、「お前が一番かわいい後輩」「お前しかいない」「お前だけが特別」などと優しい言葉を掛けてきます。

しかし、少年たちが犯行グループから離脱する意思を示した途端、態度を豹変させ、本人や家族に対する脅迫等、あらゆる手段を使って犯行グループからの離脱阻止を図ります。

「闇バイト」を「アルバイト」だと思って、簡単にやめることができると思っていないか



1 応募から検挙されるまで

(5) 犯行グループの末端として犯罪行為に加担



俺が
首魁

俺は、勧誘役



私は、掛け子

俺は、
指示役



俺は、
受け子
※末端
捨て駒



逮捕されるまでの流れ

「受け子」などの犯行グループの末端として仕方なく犯罪行為に加担



たった一度でも犯罪行為に加担すれば犯行グループからの離脱は困難



何度も犯罪行為をやらされ、逮捕されるまで使われ、逮捕されれば見捨てられる

「闇バイト」を「アルバイト」だと思って、気軽にはじめて、気軽にやめることができるものだと思っていたか



今日の講話について



1 応募から検挙されるまで

- (1) 募集情報への応募
- (2) 犯行グループとのやりとり
- (3) 犯行グループへ個人情報を送信
- (4) 犯行グループによる脅迫行為
- (5) 犯行グループの末端として犯罪行為に加担



2 迎える結末

- (1) 「使い捨て」にされる少年たち
- (2) 勇気を持って犯罪から抜け出した少年たち

3 それぞれの声

- (1) 検挙された少年たちの声
- (2) 被害者の声

2 迎える結末

(1) 「使い捨て」にされる少年たち

犯行グループにだまされて報酬を得ることができなかった

犯行グループに密告され逮捕された

「詐欺加担者」として顔写真等の身分証明書をSNSに投稿された



事例 1 犯行グループにだまされ報酬を得ることができなかった

- ① SNSで「闇バイト」に応募した先輩に誘われ「受け子」をすることとなったが、犯行グループから「金が必要になった」「振り込みをしてくれ」などと言われた。

言われるがまま指定された口座に「受け子」をして得た報酬を全て振り込まれ、結局、一円も手にすることができなかった。

一円も手にすることができないとわかっていたら「闇バイト」に応募しないはず



② 遊ぶ金欲しさから「受け子」として詐欺行為に加担し被害者から現金を受け取った。

犯行グループからは事前に「被害者から受け取った金は全て回収役に渡せ」「報酬は口座に振り込む」と言われていたので現金を全て渡した。

しかし、その後、一向に報酬は振り込まれず「次もやれば渡す」などと言われていたが、結局、報酬は一度も支払われることなく捕まった。

犯罪者が「捨て駒」に報酬を支払うのだろうか



③ 犯行グループから「報酬は後でまとめて払う」などと聞いていたが、結局、報酬が支払われることはないまま逮捕された。

④ 「受け子」としてキャリーケースを持って全国を転々とさせられた。

逮捕されるまで家にも帰れず、ホテルや漫画喫茶に寝泊まりしながら犯行を続けていた。

犯行を重ねた先に、待っているのは報酬ではなく逮捕



事例2 犯行グループに密告され逮捕された

- ① 特殊詐欺の「受け子」として被害者から騙し取った現金を持ち逃げしようとしたら犯行グループにはばれてしまい、だまし取った現金を回収された上、密告され逮捕された。
- ② 遊ぶための金が欲しく、地元の不良グループ仲間と「闇バイト」に手当たり次第応募した。
騙し取った現金を全て自分たちのものにしようとしてたが、犯行グループに密告され逮捕された。

犯行グループに密告されるとは考えたこともなかったはず



事例3 「詐欺加担者」として顔写真等の身分証明書をSNSに投稿された

警察官がサイバーパトロール中、「詐欺犯罪者」とコメントの付いた顔写真や身分証明書の画像がツイートされているのを発見した。

（「闇バイト」に応募した後、犯行グループから離脱した者に対する制裁行為と思われる）。

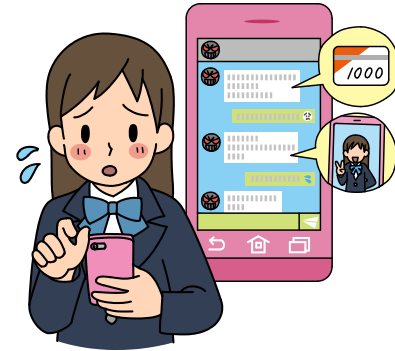
「犯罪」に手を染めたという事実にしめられる



2 迎える結末

(2) 勇気を持って犯罪から抜け出した少年たち

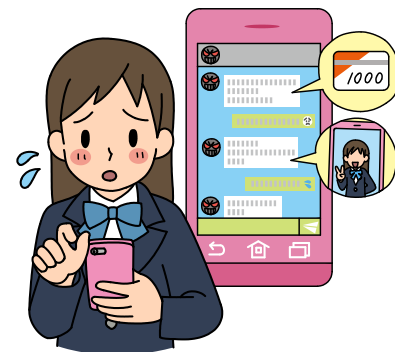
- ① 「闇バイト」に気付き少年相談窓口相談
- ② 警察官の親身な説得により改心
- ③ 母親が警察に相談し所在不明となっていた息子を発見



勇気を持って自分から知らせることが大切

事例１ 「闇バイト」に気づき少年相談窓口相談

女子大学生が犯罪実行役の募集であると感じかずに応募した後、実際に犯罪行為に加担させられそうになったため少年相談窓口へ架電し助けを求めた結果、女子大学生の居場所を特定した警察に無事に発見・保護された。

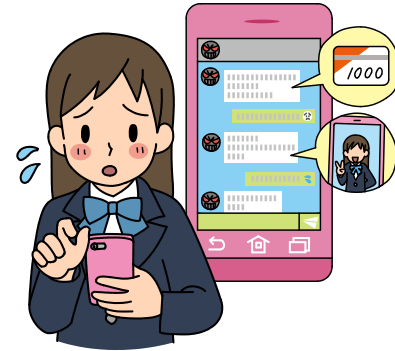


少年相談窓口をいざという時は頼ろう

事例2 警察官の親身な説得により改心

財布を紛失した男子高校生が警察署を訪れたが、言動に不審な点が認められたことから問いただしたところ、「闇バイト」に応募し犯行先へ移動中であることが判明した。

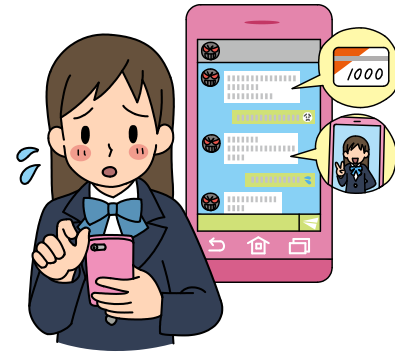
対応した警察官による親身な説得の結果、男子高校生は改心し、犯罪行為に加担することなく保護された。



犯罪行為に加担する前であることが大切

事例3 母親が警察に相談し所在不明となっていた 息子を発見

母親から息子が書き置きを残し所在不明になった旨の相談を受理し詳細を聴取したところ、「闇バイト」に応募していた事実が判明した。息子は、犯行グループにマイナンバーカードの写真データを送信した後、怖くなり**犯罪行為**への加担を拒否したが、**犯行グループから執拗に脅され、自宅も知られていたことから怖くなり、犯行グループから逃げるため所在不明となっていたところ、居場所を特定した警察に無事に発見・保護された。**



逃げる前に、家族や警察に相談を

今日の講話について



1 応募から検挙されるまで

- (1) 募集情報への応募
- (2) 犯行グループとのやりとり
- (3) 犯行グループへ個人情報を送信
- (4) 犯行グループによる脅迫行為
- (5) 犯行グループの末端として犯罪行為に加担



2 迎える結末

- (1) 「使い捨て」にされる少年たち
- (2) 勇気を持って犯罪から抜け出した少年たち

3 それぞれの声

- (1) 検挙された少年たちの声
- (2) 被害者の声

3 それぞれの声

(1) 検挙された少年たちの声（犯行前後の心境）その1

やりたくないけど後には引けない。警察に捕まったらどうしよう。

犯行グループから脅されて抜け出せなかった。後悔している。

捕まってしまったことで家族にも迷惑をかけてしまった。

もっと早く引き返せばよかった。

今後も犯行グループからしつこく誘われないか、家族に影響が及ばないかと思うと不安で仕方ない。



(1) 検挙された少年たちの声（犯行前後の心境） その2

1 回だけなら大丈夫だろう。

詐欺だと分かったが、個人情報を送り脅された後だったのでやるしかなかった。どうせ捕まるんだろうなと思っていた。

家族に相談すればよかった。捕まえてくれてありがとうございます。

「闇バイト」に手を染めれば必ず捕まる。家族に相談するなどして勇気を持って断って欲しい。

「受け子」などの紹介をしてくるやつは、「お前が一番かわいい後輩」「お前しかいない」「めっちゃ稼げる」「本当は教えたくないけどお前だから紹介してやる」など、言葉巧みに持ち上げてくる。しかし、裏ではパシリのようにしか思われていないのが現実。



(2) 被害者の声（80代・男性）

オレオレ詐欺の被害に遭ったのは、
昨年の5月、がんを患い入院していた
妻が手術を受ける前日のことでした。

私が、妻の手術成功を願い、神社で
お参りをして帰宅したところ、自宅の
電話が鳴りました。普段であれば、留
守番電話に設定しており、すぐに電話
に出ないようにしていました。けれど
も、妻の手術に備えて、離れて暮らす
長男が自宅に来る予定もあったので、
私は、電話の相手は長男だと思い込ん
で電話に出てしまったのです。



私は、自分の息子がトラブルに巻き込まれているのであれば何とかして助けなければという一心で、お金をかき集めました。

そのお金は、これまでの人生で、ぜいたくをせず、妻とコツコツと貯めたお金で、将来、私と妻の老後の生活のため、そして、息子や孫達のために使うつもりだった大切なお金でした。

犯人から再度電話があったとき、声が息子と違うような気がしました。けれども、本当に息子だったら大変なことになると思い、親心と焦る気持ちから3,000万円という大金を渡してしまいました。

80代 男性



今思えば、お金を渡す前に、息子に電話して確認すれば良かったのですが、妻の病気、手術と、大変なことが重なり、そこまで思いが至りませんでした。

翌日に手術を控えていた妻には、被害に遭った当初、お金をだまし取られたことを話せませんでした。心配を掛けたくなかったからです。それでも、退院後、被害を妻に打ち明けました。妻は、私を責めることなく、優しく慰めてくれました。そんな優しい妻は、被害から2か月も経たずに、昨年7月、他界しました。

80代 男性



息子達は、私の傷口に触れないよう、今回の被害を話題にすることはありません。

それが一層心苦しいのです。

大切な人を思う気持ちを逆手
に取り踏みにじる、特殊詐欺と
いう犯罪を許すことはできません。

80代 男性



3 それぞれの声

②被害者の声（70代・女性）

私は、オレオレ詐欺の被害に2度も遭いました。2度とも、息子を思う親心につけこむ卑劣な手口でした。

1度目の被害は、6年前、息子を名乗る者から電話で、トラブルの解決に必要と言われて200万円を振り込んでだまし取られました。2度目の被害は昨年の11月のことでした。またも息子を名乗る男からの電話で、現金を用意できないかと言われてました。



私は、親として、息子を助けることは当然のことと思い、複数の金融機関を回ってお金を下ろし、250万円を準備しました。そのお金とキャッシュカードなどを、家に取りに来た男に手渡しました。

私は、お金を渡したことで息子が助かったとすっかり安心しました。ところが、金融機関からの連絡で詐欺の被害に気付いたのです。今思い返すと、確かに不審な点はあったかもしれませんが、ですが、その時は、息子を助けたい一心だったのです。

70代 女性



お金だけでなく、手渡したキャッシュカードも使われて、3つの銀行口座から1,200万円、根こそぎ引き出されました。会社名義の口座から引き出された被害については、今後、私が補填していくことになり、被害直後の12月はまさに茫然自失で、気が付いたら年が明けていました。私が受けた精神的ダメージは、そのくらい大きいものでした。

70代 女性



今後、このような被害に遭わないように、固定電話を使用しないこと、お金の管理は家族にしてもらうことにしました。会社名義のお金も返さなくてはならないので、生活も切り詰めなければなりません。

特殊詐欺という犯罪は、私のような被害者に借金を背負わせたり、生活を一変させたりしてしまう、卑劣極まりないものです。犯人には、お金はもちろん、私の平穏な生活を返してほしいと強く思っています。

70代 女性



自殺に関する相談を受けるNPO法人代表コメント

特殊詐欺に関する相談の多くは、被害者であるにもかかわらず、財産をだまし取られたことを家族等から責められ、時には無視や差別されるなど、周囲から孤立した結果、死を選ぶという悲惨なものである。被害者が自殺した後、遺族が責任を感じ、後追い自殺した例もある。特殊詐欺の被害に遭ったことにより、二次、三次被害として被害者や遺族を死に追いやっていることから、いわば間接的殺人とも言える。

自殺に関する相談を受けるNPO法人代表コメント

被害者は高齢者が多く、家族の役に立ちたい、我が子、孫を救いたいとの優しい思いから被害に遭っている。自責の念に苦しむ被害者に、悪いのはあなたではなく犯人であるということを、家族も周りの人々も受入れ、社会全体が連帯責任と受け止めて被害者を支える体制をつくることが大切だ。

闇バイトの特徴

1 応募動機等

ア 金銭目的

- ・「遊興費用」・「酒・タバコ代」
- ・「借金返済」・「バイク代」
- ・「携帯電話・スマホ代」
- ・「生まれてくる子供のため」
- ・「交際者と同居するための費用」
- ・「中絶費用」

など



イ 人間関係

- 地元の先輩に誘われ、断りづらかった
- 友達に誘われ、興味本位で

ウ 検索文言

- 「闇バイト」・「裏バイト」
- 「UD（「受け子」・「出し子」）」
- 「高額報酬」・「運び」
- 「お金貸してください」など



闇バイトの特徴

2 犯行グループの手口

ア 募集広告の内容

- 他の業務では考えられないような高額な報酬を掲示
- 業務内容が不明確
- 募集内容から要求される資格や経験が不問



イ 募集文言

- ・「高額収入」・「高額バイト」
- ・「安全に稼げます」
- ・「1件10万～、2件いけたら20万」
- ・「犯罪ではありません」・「学生可能」
- ・「国対応」・「保証金なし」
- ・「営業で地方へ出張する仕事」
- ・「高額報酬」・「リスク無し」
- ・「詳しくはDM」
- ・「ホワイト案件」・「高校生でもいける」
- ・「詐欺ではありません」
- ・「誰にでもできる簡単な仕事」

など

ウ 要求する身分証明書

- ・「学生証」・「運転免許証」
- ・「マイナンバーカード」
- ・「住民票」
- ・「キャッシュカード」など



3 コンタクトツール

ア 募集に使われることが確認されているツール

- a SNS
 - ・「X」・「Instagram」
 - ・「Facebook」・「iMessage」
- b コミュニティサイト・掲示板
 - ・「爆サイ」・「ジモティー」
- c その他
 - ・ 歓楽街の電柱に貼られたQRコード
 - ・ 自宅ポストに投函された求人チラシ
 - ・ 求人情報サイト、求人情報冊子



イ やりとりに使われることが確認されている ツール

- Telegram
- Signal
- WeChat
- DingTalk

新しいアプリはどんどん登場している
よ、聞き慣れないアプリは要注意！



少年相談コーナー

茨城県警察 少年相談コーナー 検索

少年サポートセンター

☎ 029-231-0900

✉ keishonen@pref.ibaraki.lg.jp

相談してね

